

富士中央小学校研究授業分析レポート

著者	長崎 榮三, 石上 靖芳, 山本 真人, 藤江 大輔, 三上 聡, 望月 ゆかり, 小笠原 忠幸, 小川 まゆ, 速水 二葉, 栗田 春香, ?崎 友嗣, 湯川 靖彦, 戸田 剛
雑誌名	教職大学院・教育委員会・公立小中学校の互惠関係による校内研修向上プログラム 『協働校内研修静岡大学-富士市モデル』 調査報告書B
ページ	102-105
発行年	2012-03
出版者	静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻
URL	http://hdl.handle.net/10297/7307

平成23年6月28日

富士中央小学校 研究授業分析レポート

静岡大学教職大学院 ◎教授 長崎 榮三 ◎准教授 石上 靖芳 山本 真人
○院生 藤江大輔 三上聡 望月ゆかり 小笠原忠幸 小川まゆ
速水二葉 栗田春香 高崎友嗣 湯川靖彦 戸田剛

平成23年6月8日（水）第3校時

第4学年 組 算数科授業 授業者：野村教諭

単元：「いろいろな四角形」

本時の目標：

4本の直線で思い思いの図形を描いた子どもたちが、それらの図を自分なりの観点によって仲間分けすることを通して、四角形の構成要素やそれらに含まれる辺や角の位置関係に気づくことができる。

1 はじめに

先日は、富士中央小学校の校内研修に参加させていただきありがとうございました。

研修テーマ「学び合う授業 ～仕掛けて待つ 教師のあり方～」を目指した今年度最初の提案授業を参観させていただいて、温かく聴き合う子どもたちの姿を見ることができました。また授業後には、グループ討議の中で活発に意見を交わし合い、3つのキーワードを基に成果と課題について全体に広め、共通理解を図り今後に活かしていく質の高い事後研修に参加させていただきました。熱心な先生方から学ぶことが多く、大変勉強になりました。

今回、抽出児を中心とした表れを3つの視点を基に分析させていただきました。本レポートでは、

- ・子どものよさ、授業者のよさ
- ・授業分析（3つの視点について・子どもの表れ・本時の課題）
- ・授業改善案

という構成で整理してみましたので、御一読ください。よろしくお願いいたします。

2 授業の分析

(1) 視点

本時の目標「4本の直線で思い思いの図形を描いた子どもたちが、それらの図を自分なりの観点によって仲間分けすることを通して、四角形の構成要素やそれらに含まれる辺や角の位置関係に気づくことができる。」を、予想される子どものあらわれ、授業展開を時系列で追った時の予想される子どもの達成状況から、3つの視点を定めて授業分析を行った。

視点1 <作図>

- ・・・学習課題を受けて、子どもが自分の考えで図を描くことができているか。

視点2 <分類(クイズ)>

- ・・・四角形に注目し、仲間分けクイズを作ることができているか。

視点3 <要素・位置関係>

- ・・・要素(辺・角)や位置関係(辺の長さ、傾きや角の大きさ、直角)の視点をもって活動しているか。

児童の思考の流れにより、

A <作図>→<分類>→<要素・位置関係>

B <作図>→<要素・位置関係>→<分類>

にあらわれが大きく分けられる。Aは授業展開に沿って、自分の考えを深めた子どもであり、Bは、四角形の構成要素に先に気付き、学習問題の解決(分類する)に取り組んだ子どもである。Aの思考の子どもも、厳密に考えると、<分類>の前に構成要素に注目しているはずであるが、あらわれとして薄いと考えるもよいかもしれない。

抽出児童6人について、3つの視点の達成度を支援と時系列にそってグラフで可視化し、あらわれを記録するとともに、分析を加えた。

(2) 子どものよさ

①「温かく聴き」という姿勢がよくできていた。

②目指す授業像が、子どもたちを中心に作り出され、意識して取り組んでいる。

具体的な姿として、

- ・“わからない”または“自分の意見をうまく表現できない”友達に寄り添い、ともに考える姿が多く見られた。
- ・友達の言いたいことを理解し、それを自分の言葉を補い合い共感しようとする姿が見られる。
- ・クラス全体で支えたい友だちに対して「先生！さっき〇〇君が手を挙げていたよ！」という温かい声かけがある。
- ・子どもから出た疑問や気になる発言に対して、子どもたちの中で解決の道を探していこうとする姿が見られた。
- ・友だちの意見をよく聴いて自分なりの言葉で表現することができる。
- ・友だちが話し始めると、一瞬で聴く身体になっている。
- ・「わからない」と言える雰囲気がある。
- ・友だち同士でつなげて発言できている。
- ・与えられた条件の中で、自分なりに考えている様子が見られ、友だちの様子をのぞいてヒントを得ようとする姿も見られる。

(3) 授業者のよさ

- ・笑顔での対応が素晴らしい。
- ・「わからない」と言える学級作り、温かな学級づくりをしている。先生が子どもの発言を否定することなく、受け入れている。(目線を合わせて、頷いて聴いている)
- ・子どもの発言をうまく拾って、授業をコーディネートしていた。

- ・子どもの思いから課題をつくった。
- ・Cさんに代表されるように「Cさんは何がしたいの？」と個の課題を全体の課題として受け止めていた。
- ・指示や解説などがほとんどなく、伸び伸びと子どもに発言させていた。
- ・授業案に見切りをつけ、子どもの実態に合わせた授業を展開することで、子どもたちに勢いがつき、問題解決しようと意欲的に活動していた。児童の必要感にこだわって授業展開をしていた。
- ・教材研究を深め、自分のこだわりをもって授業している。

<教師の発話記録>先生の発言・行動のみをピックアップ

教師の発言・行動内容	考察<よさ> (2) (3) の具体的な姿
<p style="text-align: center;"><略></p> <p>48 (机間指導・・・個別指導を行う。)</p> <p>49 ヒント。ヒントほしい人。(ヒントカードを配りはじめる)</p> <p>50 (子どもにより選んで配る)</p> <p>51 「先生できたよ。」という子に対して、対応。できた子を褒めて回る。すごいじゃん。いいよ。</p> <p>52 そろそろいいですか？(個人作業…例を出した後から7分55秒間の活動)</p> <p>53 みんなやっている途中だね。友達の問題解いてみるか。Dさん、言って下さい。</p> <p>54 (Eさんの問題を板書する)位置を間違える。のちに消して、描きなおす。模造紙の図形に○をつける。</p> <p>55 みんないい。「く」はないんだって。子どもが考えている時間をまつ。うんうんと頷く。</p> <p>56 長さが同じ？→赤マジックで印する。</p> <p>57 何で「え」はちがうの。</p> <p>58 答えは？長さが同じ？</p> <p>59 子どもの発言に耳を傾ける。(子どもがつぶやく)</p> <p style="text-align: center;"><略></p>	<p>◎個に応じたヒントカードを準備。学びの様子を見取って配布。</p> <p>◎子どもよさを褒めて回る。</p> <p>◎子どもの考えや発言を受け止めながら話し合いを進行。決して無理しないで子どもたちのペースで進めている。</p> <p>◎大切なポイントのみ復唱し確認している。(教師の出番)</p>

(4) 授業の課題

- ・意見交流の場を持たせた方がよかったのではないか。
- ・活動時間が少なかった。二時間続きの導入にして、単元計画を立てる段階において、一時間ごとの見通しを持った本時の学習計画にしていきたい。
- ・あるなしクイズという仕掛けが子どもの実態に合っていなかった(提示する図形が多い)ので、視点をはっきりさせたい。
- ・ヒントカードが、子どもの求めている情報や、子どもを支援するタイミングからややずれてしまったときもあった。

- ・既習した算数用語を使用して活動を進めたい(図形の概念の捉えさせ方が甘かった)。
- ・自分の考えを紹介できない子どももいた。

3 授業改善案

(私たちは、以下のような方法も可能であるかどうかと考えました)

- ・やはり、四角形にしぼって一時間授業にしてみたい。
例えば、「①直線でできる図形を作ってみよう」「②四角形に着目してみよう」という二時間扱いにしたなら全ての子どもが学びに参加できたのではないか。
- ・ヒントカードの情報量を特定したい。
例えば、直角だけ長さだけと、情報を特定した方が分かりやすかったのではないか。
- ・あるなしクイズを、子どもの課題意識とより近いものにしたい。
例えば、全てを二つに分けるのではなく、仲間わけをするほうが構成要素に目を向けやすかったのではないか。
- ・さらに、あるなしクイズの表の項目を、子どもの思考の順番に合わせた方がよかったのではないか。

↓	答え	
	ある	
	なし	

- ・立ち止まって、全体で考える場を作りたい。
例えば、「Fさんが㊸と㊹は四角形でないと思うのはどういうこと？」の発問時などに、子どもたち同士で話し合う時間や、図形に戻って確かめあう時間を設けてあったら、参加できる児童もさらに増えたのではないか。
- ・学習内容を可視化する工夫を増やしたい。
例えば、図形を一枚の紙に全て表すだけでなく、一つ一つ分離して提示することで、子どもを同じ学びの土俵にのせることができたのではないか。

4 おわりに

今回の授業は、重点目標である「温かく聴き 考え つなげ合う」が参観した私たちにも伝わってくる授業でした。児童一人一人が、相手の思いを温かく受け止める姿や励まし合い高め合う姿をたくさん拝見することができました。また、一時間の授業を観ただけですが、子どもの思いにもとづいた授業にするためにはどうしたらいいのか、子どもが一步前に動き出すにはどういった支援や仕掛けがいいのか先生方が研修されてきた積み上げが感じられた授業でした。

今回は、ご多用中にもかかわらず、授業参観、事後研修会に参加させていただきありがとうございました。今後も富士中央小学校の研修で学ばせていただき、私たちの教師としての専門性を一層向上させていきたいと願っております。今後もよろしくお願いいたします。